

関係者各位

PRESS RELEASE 2022.3.7

マン・レイと女性たち

Man Ray and the Women

会期:2022年4月21日(木)—6月19日(日)

会場:長野県立美術館 展示室 2・3

■ 展覧会概要

『マン・レイと女性たち』

- 会 期: 2022年4月21日(木)~6月19日(日)
休 館 日: 毎週水曜休館 ※但し、5月4日(水・祝)は開館。翌々日の5月6日(金)は休館。
会 場: 長野県立美術館 展示室 2・3
展覧会担当: 松井正・佐々木裕貴子
主 催: 長野県、長野県立美術館
共 催: 長野県教育委員会
後 援: 在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、長野市、長野市教育委員会、
長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本 長野支社、
信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、
abn 長野朝日放送、FM 長野、INC 長野ケーブルテレビ
監 修: 巖谷國士 Kunio Iwaya(シュルレアリスム研究、仏文学者、美術批評家、明治学院大
学名誉教授)、マリオン・メイエ Marion Meyer(20世紀美術研究、国際マン・レイ協会会長)
特別協力: 国際マン・レイ協会(Association Internationale Man Ray, Paris)
協 力: 日本航空
企画協力: アートプランニング レイ
観 覧 料: 一般 1,500(1,400)円、大学生及び75歳以上 1,300(1,200)円、高校生以下又は18歳未満無料

※()内は20名以上の団体料金 ※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般 2,000円、大学生及び75歳以上 1,600円
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料 ※割引の併用はできません

20世紀を代表する芸術家の一人、マン・レイ（1890-1976）。絵画や彫刻、オブジェ、映画、文学と幅広いジャンルで活躍した作家は、写真でもその類稀な才能を発揮しました。スティーグリッツやデュシャンといった時代を代表する芸術家たちとの交流のなかで本格的にカメラを手にしたマン・レイは、当時、自立した芸術表現としてのあり方を模索していた写真の分野で名声を博します。

そんなマン・レイの写真を特徴づけるのが、レイヨグラフィやソラリゼーションといった独自の技法や、軽やかな撮影スタイル、そして長い生涯のなかで出会った女性たちの存在です。人生の時々を過ごした恋人たち、女性アーティスト、女優、モデル、社交界の貴婦人といった女性たちは、マン・レイにとっての“ミューズ”であると同時に、激動の時代を生きる自由な人間性の象徴でもありました。

本展では4つの章に分けて、ニューヨーク、パリ、ハリウッド、そして再びパリと、マン・レイにとって愛と別れ、発見、冒険、そして遊びの舞台となった都市を巡ります。写真を中心に、絵画やオブジェなど250点を超える選りすぐりの作品をお楽しみください。



マン・レイと女性たち ポスター

■見どころ

- ・20世紀を代表する芸術家マン・レイ。マン・レイが手がけた作品には数多くの女性たちが登場します。キスリングやスーティン、藤田嗣治といった芸術家たちのモデルもつとめたキキ・ド・モンパルナスや、助手として公私ともにマン・レイのパートナーとなったリー・ミラー、マン・レイの晩年を共にしたジュリエット・ブラウナーなど、本展では、マン・レイの“ミューズ”となった「女性たち」に焦点を当てます。

- ・ニューヨーク、パリ、ハリウッド、そして再びパリと、マン・レイにとって愛と別れ、発見、冒険、そして遊びの舞台となった都市を巡る4章立てで、写真を中心に、絵画やオブジェなど250点を超える選りすぐりの作品をご紹介します。

- ・レイヨグラフィやソラリゼーションといった表現技法を生み出したマン・レイは、芸術としての地位を高めつつあった写真の分野で新たな表現の可能性を拓きました。多くの写真家を輩出するなど写真にゆかりの深い長野県の美術館で、20世紀写真史において大きな足跡を残したマン・レイの作品をお楽しみいただけるまたとない機会となります。

■本展監修者

マリオン・メイエ MARION MEYER

(プロフィール)

20世紀美術史家としてアーティストらと交友。1979年に画廊を開設し、ダダとシュルレアリスムを専門に扱う。ジュリエットがパリに設立した国際マン・レイ協会を継ぎ、2004年に会長就任。マン・レイの作品を守り、その光芒を伝えることに尽力している。

(メッセージ)

マン・レイは女性たちを愛しました。女性たちを写真に撮り、絵やデッサンに描きました。女性たちはその作品のなかでも最高の位置を占めていました。この展覧会は、マン・レイが女性たちとのあいだに保っていた特別の関係——恋愛関係、芸術的・知的な関係、交友関係などに強調を置いています。

このたび日本のみなさまに、マン・レイの作品における女性たちの位置について、この展覧会を通じて発見していただくことができれば幸いです。本展が日本で大きな歓迎をもって受け入れられますことを祈念申し上げます。



巖谷國土 KUNIO IWAYA

(プロフィール)

仏文学者・美術批評家・明治学院大学名誉教授。1960年代からシュルレアリスムの研究と実践で知られ、第一人者とされる。著書・訳書多数。写真や講演のほか、展覧会監修の仕事も多く、2004-05年の「マン・レイー私は謎だ」展では、マリオン・メイエと協力しあった。

(メッセージ)

マン・レイは20世紀を代表する多才な芸術家ですが、生涯にわたって数多くの女性像をのこしました。写真作品だけを集めても、一時代の女性文化のギャラリーができるほどです。恋人や友人、女性シュルレアリストや女性芸術家から、社交界・ファッション界・映画界の女性まで——マン・レイは彼女たちと対等に接し、偏見のない客観的な目で、それぞれの美しさを定着しました。その女性観には今日にも必要な新しさがあります。

本展では、そうしたマン・レイ自身と出会えるだけでなく、自由に生きた20世紀の女性たちと対話することもできるでしょう。



■ 展示構成

第Ⅰ章 ニューヨーク New York 1890-1921

- 1 セルフポートレート Self-Portraits
- 2 ダダ時代の作品 Works from the Dada Period

第Ⅱ章 パリ Paris 1921-1940

- 3 ダダ・シュルレアリスム Dada and Surrealism
- 4 シュルレアリストたちの肖像 Portraits of the Surrealists
- 5 キキ・ド・モンパルナス Kiki de Montparnasse
- 6 リー・ミラー Lee Miller
- 7 社交界・芸術界・モンパルナス Parisian Society and the Artistic Circles of Montparnasse
- 8 ファッションと写真 Fashion and Photography
- 9 裸体からマネキン人形まで From Nudes to Mannequins
- 10 女性たちとシュルレアリスム Women and Surrealism
- 11 マン・レイの「自由な手」 Man Ray's "Free Hands"
- 12 アディ・フィドラン Ady Fidelin

第Ⅲ章 ハリウッド Hollywood 1940-1951

- 13 ジュリエット・ブラウナー Juliet Browner
- 14 アートの新天地 A New World for Man Ray's Art

第Ⅳ章 パリふたたび Returning to Paris 1951-1976

- 15 アートのなかの女性像 The Female Figures in His Artwork
- 16 新しいジュエリーとモード Novel Jewelry and Fashion Design
- 17 マン・レイとは誰だったか？ A Look Back: Who Was Man Ray?

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。

■ 広報用画像／キャプション／クレジット



①

カメラをもつセルフポートレート（ソラリゼーション）

Self-portrait with Camera, Solarization

ca. 1932-35, ゼラチン・シルバー・プリント（ヴィンテージ）, 個人蔵

Photo Marc Damage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY
2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



②

マン・レイの映画「理性への回帰」のスチル写真

Film still from Man Ray's film *Le Retour à la Raison*

1923, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷）, 個人蔵

Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP,
Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



③

永続するモチーフ

Perpetual Motif

1923/1971, 木製メトロノーム、目の写真, 個人蔵

Photo Marc Damage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015
TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



④

アングルのヴァイオリン

Ingres' Violin

1924, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷）, 個人蔵

Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP,
Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑤

黒と白

Black and White

1926, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷）, 個人蔵

Photo Marc Domage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris /

© MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021

G2698



⑥

リー・ミラー（ソラリゼーション）

Lee Miller, Solarization

ca. 1929, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷）, 個人蔵

Courtesy Telimage, Photothèque Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP,

Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑦

ココ・シャネル

Coco Chanel

1935, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷）, 個人蔵

Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP,

Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑧

眠る女（ソラリゼーション）

Sleeping Woman, Solarization

1929, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷）, 個人蔵

Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015

TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



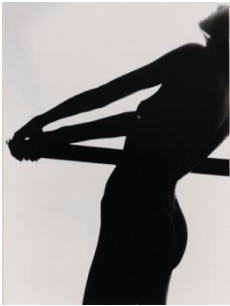
⑨

エロティックにヴェールをまとう (メレット・オッペンハイム)

Veiled Erotic, Meret Oppenheim

1933, ゼラチン・シルバー・プリント (後刷), 個人蔵

Photo Marc Damage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑩

ニュッシュ・エリュアール (詩写真集『容易』より)

Nusch Éluard, from *Facile*

1935, ゼラチン・シルバー・プリント (マン・レイによる後刷), 個人蔵

Photo Marc Damage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑪

手 (レイヨグラフ)

Hands, Rayograph

1927, ゼラチン・シルバー・プリント (後刷), 個人蔵

Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑫

アドリエヌ・フィドラン

Adrienne Fidelin

1937, ゼラチン・シルバー・プリント (ヴィンテージ), 個人蔵

Photo Marc Damage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑬

ペシャージュ (桃・雲・風景)

Pêchage

1969/1972, 木製箱、人工の桃 3 個、綿、塗料, 個人蔵

Photo Marc Domage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑭

宮脇愛子の肖像

Portrait of Aiko Miyawaki

1962, ゼラチン・シルバー・プリント (レプリカ), 宮脇愛子アトリエ

Courtesy MIYAWAKI AIKO Atelier / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑮

ジュリー (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)

Julie, from *La Ballade des Dames hors du Temps*

1971, エッチング、アクアティント (多色)、紙, 個人蔵

Photo Marc Domage, Courtesy Association Internationale Man Ray, Paris / © MAN RAY 2015 TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2698



⑯

「マン・レイと女性たち」展ポスター

広報用画像申込書

マン・レイと女性たち

Man Ray and the Women

会期：2022年4月21日（木）～6月19日（日）

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。

○をつけてください！	番号	画像名
	①	カメラをもつセルフポートレート（ソラリゼーション）／Self-portrait with Camera, Solarization, ca. 1932-35, ゼラチン・シルバー・プリント（ヴィンテージ），個人蔵
	②	マン・レイの映画「理性への回帰」のスチル写真／Film still from Man Ray's film <i>Le Retour à la Raison</i> , 1923, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	③	永続するモチーフ／Perpetual Motif, 1923/1971, 木製メトロノーム、目の写真，個人蔵
	④	アングルのヴァイオリン／Ingres' Violin, 1924, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑤	黒と白／Black and White, 1926, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑥	リー・ミラー（ソラリゼーション），Lee Miller, Solarization, ca. 1929, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑦	ココ・シャネル／Coco Chanel, 1935, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑧	眠る女（ソラリゼーション）／Sleeping Woman, Solarization, 1929, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑨	エロティックにヴェールをまとう（メレット・オッペンハイム）／Veiled Erotic, Meret Oppenheim, 1933, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑩	ニュッシュ・エリュアル（詩写真集『容易』より）／Nusch Éluard, from <i>Facile</i> , 1935, ゼラチン・シルバー・プリント（マン・レイによる後刷），個人蔵
	⑪	手（レイヨグラフ）／Hands, Rayograph, 1927, ゼラチン・シルバー・プリント（後刷），個人蔵
	⑫	アドリエヌ・フィドラン／Adrienne Fidelin, 1937, ゼラチン・シルバー・プリント（ヴィンテージ），個人蔵
	⑬	ペシャージュ（桃・雲・風景）／Pêchage, 1969/1972, 木製箱、人工の桃3個、綿、塗料，個人蔵
	⑭	宮脇愛子の肖像／Portrait of Aiko Miyawaki, 1962, ゼラチン・シルバー・プリント（レプリカ），宮脇愛子アトリエ
	⑮	ジュリー（版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より）／Julie, from <i>La Ballade des Dames hors du Temps</i> , 1971, エッチング、アクアティント（多色）、紙，個人蔵
	⑯	「マン・レイと女性たち」展ポスター

●貴社についてお知らせください

貴社名 _____ / 媒体名（雑誌、番組名等）_____

ご担当者名 _____ / 所属部署 _____

ご住所 〒 _____

電話 _____ / FAX _____ / E-mail _____

E-mail _____

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 _____ 月 日（ ） に発行、または放映予定

※画像掲載の際はP. 5-8の各画像に振られた指定のクレジットを必ず併記して下さい。※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

※ウェブ媒体の場合は画像を72dpi以内に設定の上、コピーガードをほどこし、展覧会終了時には画像の削除をお願いします。

■関連イベント

※予約が必要なイベントは、すべて申込フォーム（当館ホームページ内）にて受け付けます。※参加費は全て無料。

※新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

(1) 担当学芸員によるギャラリートーク①

日時： 4月24日（日） 午後1時30分～

会場： 展示室2・3 定員：なし 参加費無料*ただし、要観覧券

(2) 担当学芸員によるギャラリートーク②

日時： 6月12日（日） 午後1時30分～

会場： 展示室2・3 定員：なし 参加費無料*ただし、要観覧券

(3) こどもアトラボ①

日時： 5月14日（土） 午前10時～午後3時

会場： 交流スペース 定員：なし*要申込（※4月16日～申込フォームにて受付） 参加費無料

(4) こどもアトラボ②

日時： 6月11日（土） 午前10時～午後3時

会場： 交流スペース 定員：なし*要申込（※5月21日～申込フォームにて受付） 参加費無料

(5) おやこでトーク

日時： 5月28日（土） 午前11時～

会場： 展示室2・3 定員：5組*要申込（※4月28日～申込フォームにて受付）

参加費無料*ただし、要観覧券 対象：小学生以下（保護者同伴）

同時開催

●東山魁夷コレクション展 第Ⅰ期（東山魁夷館）4月14日（木）～6月7日（火）

●東山魁夷コレクション展 第Ⅱ期（東山魁夷館）6月9日（木）～8月2日（火）

●長野県立美術館コレクション展 第Ⅰ期（本館）3月17日（木）～5月17日（火）

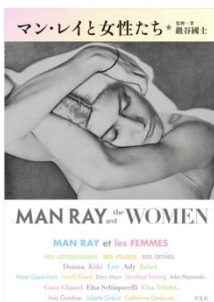
●長野県立美術館コレクション展 第Ⅱ期（本館）5月19日（木）～7月19日（火）

観覧料（本館・東山魁夷館共通）：一般 700(600)円、大学生及び 75 歳以上 500(400)円

※「マン・レイと女性たち」との共通券／一般 2,000 円、大学生及び 75 歳以上 1,600 円

■展覧会図録

『マン・レイと女性たち』 巖谷國士 監修・著、平凡社 刊、定価 2,500 円（税別）



お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県立美術館（旧長野県信濃美術館）広報・マーケティング室

TEL:026-232-0052 / E-MAIL:nam-pr@naganobunka.or.jp